



ITU-R SG5 WP5D (第33回) の結果について

総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室
システム開発係長

まるばし ひろひと
丸橋 弘人



1. はじめに

国際電気通信連合無線通信部門 (ITU-R) SG5 (地上業務研究委員会) の傘下のWP5Dの第33回会合が、2019年12月10日 (火) から13日 (金) に、ジュネーブのITU本部において開催されたので、その結果について報告する。

(1) WP5Dの所掌及び会合の概要

WP5DはIMT (International Mobile Telecommunications: IMT-2000、IMT-Advanced、IMT-2020及びそれらの高度化・将来開発を包括する無線システム) の地上コンポーネント関連の検討の全てを所掌しており、IMTに関する各種ITU-R勧告、報告類の策定、改訂作業及びWRC議題関連の検討を行っている。

前回第32回会合においては、IMT-2020無線インタフェース技術の国際標準化に向けて、その候補技術の提案の受付が締め切られた。

今回の第33回会合では、IMT-2020無線インタフェース技術の提案に関する内容に特化した審議が行われ、IMT-2020無線インタフェース技術の評価に関するワークショップが開催されるとともに、IMT-2020無線インタフェース技術の提案/評価に関する各種文書作成に向けた審議を行うWG TECHNOLOGY ASPECTS会合が実施された。

今会合には、19か国、23機関から91名が出席し、日本からは8名が参加した。日本寄書2件 (韓国との共同寄書) を含む47件の入力文書が検討され、35件の文書が出力された。

■表. WP5Dの審議体制

	担務内容	議長
WP5D		S. BLUST(AT&T)
WG GENERAL ASPECTS	IMT関連の全般的事項	K. J. WEE (韓国)
WG SPECTRUM ASPECTS	周波数関連	A. JAMIESON (ニュージーランド)
WG TECHNOLOGY ASPECTS	無線伝送技術関連	H. WANG (Huawei)
AH WORKPLAN	WP5D全体の作業計画等調整	H. OHLSEN (Ericsson)

(2) 主要議題及び主な結果

- ①IMT-2020無線インタフェース技術の評価ワークショップ
 - ・3GPP、中国、韓国、ETSI/DECT Forum、TSDSI、Nufrontの6団体から、それぞれのIMT-2020無線インタフェース技術の提案内容について発表が行われた。
 - ・5GIA (欧州)、ATIS (北米)、ChEG (中国)、CEG (カナダ)、WWRF、TCOE (インド)、5GMF (日本)、TTA (韓国)、TPCEG (環太平洋)、5GIF (インド) の10の外部評価団体から、提案されているIMT-2020無線インタフェース技術に対する評価の中間報告が行われた。
- ②技術関連事項 (Technology Aspects関連)
 - ・IMT-2020無線インタフェース技術の提案に関しては、前回会合において自己評価の内容に不備があるとされた、ETSI/DECT Forum、TSDSI、Nufrontの提案について2019年9月10日までに不備を修正した文書入力が行われたため、本会合で内容を検討し、正式受領とすることを合意した。Nufrontの提案に関しては、その詳細仕様を確認しなければ、外部評価団体での評価ができないこと及びNufrontが提出した自己評価の方法に問題があるとして、複数の中国セクタメンバが正式受領に反対したが、必要書類はそろっており、詳細な技術評価はこの後のステップで実施されることを根拠として、受領が合意された。
 - ・IMT-2020無線インタフェース技術の評価に関しては、今回5GMFをはじめ10の外部評価団体から暫定評価結果が入力された。これらの内容を確認するとともに、その入力履歴を記載するIMT-2020文書の作成及び更新が行われ、他の外部評価団体にも情報共有することとした。
 - ・日韓共同寄書及び中国からの入力寄書を基に、新報告案ITU-R M. [IMT-2020.OUTCOME]、新勧告案ITU-R M. [IMT-2020.SPECS] の作成に向けた作業計画及び作業文書を検討・作成し、次回会合で継続検討することにした。
 - ・第34回会合及び第35回会合で上記の新勧告案の作成に必要な書類提出を要請するリエゾン文書を作成し、IMT-2020無線インタフェース提案者に対して発出した。



・IMT-2000無線インタフェース技術をまとめた勧告ITU-R M.1457の第15版に向けた改訂作業に関しては、TDMA/FDMAのGCS プロポーネントであるETSIから改訂概要が入力され、第36回会合完成を予定として改訂作業を継続することを合意した。

2. 今後の予定

次回以降、各会合は以下のとおり開催される。

- ・WP5D会合（第34回会合）：2020年2月19日（水）～26日（水）（ITU本部（ジュネーブ））
- ・WP5A（第23回会合）、WP5B（第24回会合）、WP5C（第23回会合）：2020年4月27日（月）～5月8日（金）（ITU本部（ジュネーブ））
- ・SG5（第16回会合）：2020年5月8日（金）（ITU本部（ジュネーブ））

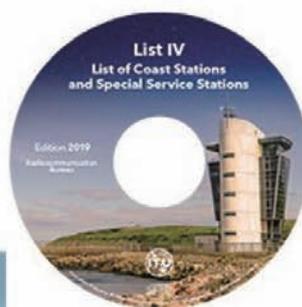
3. おわりに

今回のWP5D会合において、日本からも積極的に議論に貢献できたことは、長時間・長期間にわたる議論に参加された日本代表団各位、会合前の寄書作成や審議に貢献していただいた関係各位のご尽力のたまものと、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

国際航海を行う船舶局に必須の書類 好評発売中！



船舶局局名録
2019年版



海岸局局名録
2017年版
-NEW!-

海上移動業務及び
海上移動衛星業務で使用する便覧
2016年版

お問い合わせ: hanbaitosho@ituaj.jp

